

年末年始は、受験生にとって志望校合格への最終局面。受験生の誰もが緊張と不安を抱えながら過ごすこの時期、どんな風に過ごすのが一番良いのでしょうか。また、家族にできることは何でしょうか。「個別指導キャンパス」では長年のノウハウを生かし、子どものモチベーションを高めて成績アップ・志望校合格に導いています。代表の福盛訓之さんに、受験前の心得についてアドバイスをお聞きしました。

受験前の心得



「生徒一人一人に合わせたオーダーメイドカリキュラムを作成し、集中的に強化します」と話す福盛代表

個別指導キャンパス 代表・福盛訓之さん
お問い合わせ先: (0120) 934830

— 受験生はこの時期をどう過ごすべきでしょうか

体調の維持管理が大切。徹夜して体を壊し2、3日勉強できなくなる方が問題。また、睡眠が4、5時間だと、学校の授業中にぼつとするなど、中身の薄い勉強をしている時間が長くなります。

— 勉強の仕方のポイントは何でしょうか

受験校の入試の過去問を解いて、自分がよく把握していない単元に関してしっかりと覚えてください。その際、新しく参考書を買うのではなく、今まで使ってきた問題集でやり直するのが良いです。受験直前にあれこれ新しいことに手を出すと、焦りがつのってしまいます。

— 効率的に覚えるにはどうすれば良いでしょうか

効率的な学習、記憶に関してはテクニクがあります。寝る前にやっていた勉強を登校前の10〜20分くらいですぐに確認できれば、それが一番定着します。一度睡眠を挟んで覚え直すのが記憶の定着に効果的です。

— 家族は子どもをどう支えていくべきでしょうか。

教科指導についてあまり口出しをすべきではありません。塾に行っている場合は、塾の講師との間で内容の濃いやりとりがあります。保護者はメンタル面や体調管理の心配りに徹するべきです。

— 具体的に

三食きっちり食べ、早寝早

起きる環境づくり。風邪をひかないよう手洗いうがいをさせるのも重要。就学前から求められる生活習慣をさせることが結果的には一番効果的なのです。

— いま塾に行っていない受験生が、この時期から通っても効果はありますか

最後の得点力アップのお手伝いは可能です。ケアレスミス1つ取っても、ケアレスミスしやすい場所が教科によって異なります。塾ではデータ分析して傾向をつかんでいるため、そういうところをざっと復習し、ケアレスミスに絞って復習し直すだけでも各教科5点くらい変わってきます。実力以上に引き伸ばせる技が当塾にはあります。